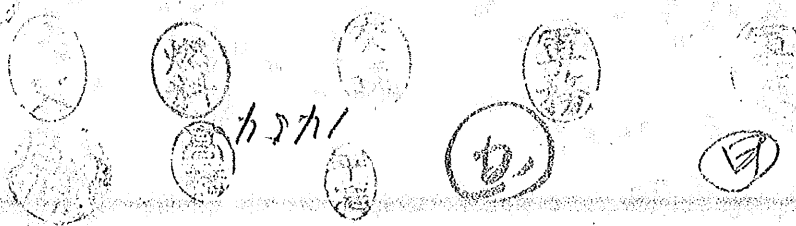


月三十日



方軍參謀部

第二卷

一 西安攻峽路線の歴史的考察  
一 成都重慶攻峽路線の歴史的考察  
一 孟縣油池の調査報告  
一 山東省の重要地誌の体験資料

第一輯 三部

甲集團參謀部

一 部  
一月九日

孟縣油池調査報告  
一月九日

三四三三  
一〇九  
拜

陸軍部  
17.1.25

陸軍部  
17.1.26  
42  
軍事課

1.28  
17.1.26  
88  
軍務課

1.27  
陸軍部

1455



參  
考

方軍參謀部調查第三八號

# 西安攻略路線ノ歴史的考察

昭和十六年十二月二十日  
甲集團參謀部第二課

前 言

本資料ハ西安攻略ニ關スル歴史的路線ノ考察ナリ

現今ノ情勢ニ於テ適應シ難キ幾多ノ點ノ存スルハ之ヲ認ム然レトモ  
地形判斷上ノ一資料タラシムルノ目的ヲ以テ敢テ之ヲ上梓シ參考ト  
シテ配布ス

控總ノ間修文ノ拙論旨ノ不備ハ諒承ヲ乞フ

昭和十六年十二月二十日

第二課 高級參謀

1456

目次

第一章	概論	.....	一
第一節	西安攻畧ノ特異點	.....	一
第二節	作戰時機	.....	一
第二章	西安攻畧路線	.....	二
第一節	函谷關—潼關路	.....	三
第二節	潼關ノ攻畧路線	.....	三
第三節	黄河ノ渡河	.....	四
第四節	水軍ノ利用	.....	六
第五節	南陽—武關—藍關路	.....	六
第六節	入關ヨリ西安マデ	.....	七
第三章	結論	.....	八
附記	古往並ニ現時ニ於ケル關中ノ價值ト之ガ攻畧要領	.....	九
第一	古往ニ於ケル關中ノ價值判斷	.....	九

第二 現時ニ於ケル關中ノ價值判斷 ..... 一

第三 關中攻畧要領 ..... 一

附 圖

## 第一章 概論

## 第一節 西安攻畧ノ特異點

西安ハ古來長安ト稱シ屢々帝都トナリシ處ナリ、從ツテ此ノ地ガ爭奪ノ的トナリシ事例ハ史上稀ナラズ比較的詳細ナル記述ニシテ後世ニ傳ヘラルルモノノミニテモ約二十餘ニ及ブ

西安ハ渭水盆地ノ中央ニアリテ東ニ黃河ノ溪谷、南ニ秦嶺山脈、西ニ甘肅ノ六盤山、北ニ榆林高原ト其ノ北邊ハ萬里ノ長城ニ圍繞セラレアル等四圍ニ天險ヲ擁シ守ルニ易ク攻ムルニ難キ地形ノ要衝ヲ占ム之等要害ノ地ニハ關門ヲ設ケアリテ東ニ函谷關、西ニ散關、南ニ武關、北ニ蕭關アリ、以上四關ノ險ニヨリ圍マレタル西安平地ヲ古來「關中」ト稱シ幾多ノ帝王ガ據リテ以ツテ霸ヲ稱ヘタル所ナリ

西安ヲ防衛セントセバ前述ノ四關ヲ守備スルヲ以ツテ最大要件トセリ、斯ノ如ク四關ハ何レモ昔ヨリ「一夫險ニ據レバ萬夫モ攻メ難シ」ト稱サレタル要害ニシテ西安攻防ノ第一線ハ實ニ關門ノ攻防ニアリ

攻撃軍ニ取リテ此ノ關門突破ハ難中ノ難事トサレアリ、然レ共一度  
 コノ險要ヲ奪取セバ爾後ノ西安攻略ハ易々タルモノニシテ西安ノ保  
 持ハ四險ヲ保持スルコトニヨリテ始メテ可能ナリシモノナリ  
 史例ニ見ルモ東ヨリスル西安攻略ハ函谷關、潼關ノ要線爭奪ガ全局  
 ヲ支配セリ、此ノ關係ハ恰モ我ガ江戸城ニ於ケル箱根ノ關所ニ比ス  
 ベキモノナリ、勿論潼關ヲ越ヘ西安ニ至ル間ニモ要害ノ地アリ激戰  
 ノ有リシ事例尠カラズト雖モ潼關攻略後西安ヲ陷シ能ハザリシ戰例  
 ハ十六ノ史例中唯一例（陳涉）ニ過キザリキ、以上歴史的觀察ヨリ  
 セバ西安攻略ハ四關ノ奪取ニヨリ運命既ニ決セラレタルモノト謂フ  
 ベシ

## 第二節 作戰時期

史實ニ徴シ作戰時期ヲ觀察スルニ其ノ大部ガ相類似シアルコトヲ發  
 見シ得ヘシ、即チ甘肅方面ヨリスルモノト漢中（南鄭）ヨリスルモ  
 ノトノ三例ヲ除ケバ十七例中秋季（舊曆七月―九月）ニ關テ越ヘタ  
 ルモノ九、同ジク冬季（舊曆十月―十二月）五、春季（舊曆一月―三月）

二、夏季（舊曆四月―六月）一、ニシテ秋、冬期其ノ大部ヲ占メテ七例中十四例ノ多キニ達ス、西安攻略ノ時機カ夫々相似セルハ黃河流域ノ四季ノ影響中特ニ潼關附近ノ氣候的特性ニ大ナル關係ヲ有スルモノノ如ク推察セラル、或ル論者ハ東ヨリ西安ヲ攻撃スル場合關中地方ノ冬ハ東方ノ兵士ニトリ左程堪ヘ難キモノニアラズ黃河及渭水ノ結氷期ヲ狙ヒシ爲ニアラズヤト推測セリ、又春季ハ黃塵並ニ降雨ノ影響アリ、夏季ハ暑氣酷シク降雨又多キタメ行動ヲ阻止セラルルニヨリ主トシテ秋、冬ガ選バレルモノト判斷シアリ

右ノ理由以外ニ特ニ秋冬ガ作戰ノ時期トシテ選定セラレタル所以ハ尙幾多アルベシト思惟セラルルモ之レガ詳細ナル研究ハ後日ニ委ス

## 第二章 西安攻略ノ路線

河南平地ヨリ關中ニ至ル道路ハ黃河以南ニ於テ洛陽―函谷關―潼關道及南陽―武關―藍關道ノ二ヲ有スルノミニシテ其ノ中間地帯ハ秦嶺山脈連互シ東西ノ交通ヲ遮斷シアリ、前記以外ニハ僅カニ洛水ニ



沿ヒ洛陽一宣陽一盧氏一維南道アルモ峻阻狹隘ニシテ大兵ヲ用フル  
ニ適セス只潼關路ノ一支路ト見做スベキノ故ニ關内外ノ主要作戰  
路ハ古來潼關路及武關路ノ二路ノミナリ而シテ之等ノ道路ハ其ノ  
何レカヲ主トシ又ハ從トシ當時ノ狀況ニ應シ互ニ相關聯シテ利用セ  
ラレ來レリ

史例ニヨレバ武關路ノミヲ利用シタルモノハ劉邦（漢ノ高祖）ニシ  
テ潼關路及武關路ヲ併用シタルモノニ陳涉、劉裕アリ其ノ他ハ全部  
潼關路ヲ主作戰路トシテ利用シ來レリ

潼關路ノミヲ利用シ武關路ヲ使用セザリシ所以ノモノハ該道ヲ利用  
シ得ル條件ヲ備ヘザリシカ又ハ支作戰路トシテ利用スル事ヲ必要ト  
セザルカノ何レカニ基因ス

要スルニ史實ニヨル西安攻畧路線ノ大部ハ函谷關一潼關路ヲ主作戰  
路ニ南陽一武關路ヲ支作戰路トセルモノナリト稱シ得ヘシ

## 第一節 函谷關—潼關路

函谷關—潼關道ハ古都長安（西安）ト洛陽ヲ結ブ交通路ニシテ現在ノ離海鐵道ノ通ズル所ナリ

大黄河ハ鄭州ヨリ下流ニ於テ大平原ヲナスモ上流地方ハ兩岸共ニ山岳重疊シアリテ作戦上ノ障礙ヲナス

鄭州西方滎陽ハ西方山地帶ヨリ河南平地ニ出ル隘路口ヲ掩スル地ニシテ潼關路ヲ進撃スル場合重要ナル戰略上ノ要點ナリ

洛陽ヲ經テ新安縣ニ至ル間ハ道路稍平坦ナルモ新安ヨリ潼關ニ至ル約二三〇軒ノ間ハ兩側山岳迫リ方軌ノ列陣ヲモ通ゼサル狹隘ナル道

路ニシテ就中新安並ニ靈寶ハ有名ナル險要ニシテ古來函谷關（東ハ漢、西ハ秦）ノ險ヲ以ツテ知ラレタル地ナリ

潼關ハ陝西省華陰東方二五軒ノ地點ニアリ往時桃林塞ト稱シ逸早く左傳ノ中ニ現ル

周室東遷後關中ニ據レル秦ハ函谷關西、潼關ヲ以ツテ東方ノ固メト

セリ

周ノ愷王三年（前三一八年）楚、趙、魏、韓、燕ノ諸國共同シ秦  
ヲ攻讎シタルモ函谷關ニ於テ阻止セラレ次デ秦ノ始皇帝六年（前二  
四一年）蘇秦ノ合従策成リシ後楚、趙、魏、韓ノ四國再度之ヲ攻メ  
タルモ又之ヲ拔ク能ハズ、其ノ後漢ノ劉邦ハ張良ノ獻策ニヨリテ此  
ノ機要ヲ避ケ南陽ノ武陽關ヲ利用シテ成功セリ

第二節 潼關ノ攻略路線

潼關ハ上流ノ如ク險要ニシテ又西安防衛ノ主要點ナルタメ古來幾度  
カ名将將心血ヲ注クノ戰場トナレリ

潼關ヲ正面ヨリ破リテ關中ニ入リシモノ項羽、石虎、安祿山、黃

巢等アリ

- (イ) 項羽ノ場合ハ敵將劉邦ガ攻路上故意ニ潼關ヲ放棄セシユヨル
- (ロ) 石虎ノ場合ハ最初大敗セルモ敵軍ノ内應ニヨリ始メテ通過シ得  
タリ

(ハ)安祿山ノ場合ハ攻畧ニ一月ヨリ六月迄ノ日時ヲ費シタルモ成功セズ其ノ後敵將哥舒翰カ暗愚ナル玄宗皇帝ノ勅命ニヨリ關ヲ出デテ出撃シ靈寶ノ西ニテ戰ヒ大敗シタルヲ急追シ辛ジテ潼關ヲ抜クヲ得タリ

(ニ)黃巢ノ場合ハ唐室ノ内紛ノタメ潼關守備全タカラス守將ガ關ニ到着シタル際ニハ既ニ黃巢モ到着シアリテ攻撃ヲ開始後激戰三日ニシテ之ヲ突破セリ(一遭遇戰ノ例)

黃巢ノ兵力六十万ニ對シ關外ヲ守ル齊克讓軍ノ飢卒一萬人、關内ヲ守ル張承範軍僅カ三二千八百ナリシナリ

以上ノ外李自成ガ同ジク潼關ヲ破リテ入關セシガ其ノ攻撃ハ主力ヲ正面ニ配シ自カラ手兵ヲ以ツテ間道祿山崖ヲ通り背後ヨリ奇襲シ成功セルモノナリ

前述ノ如ク史實ニヨレバ潼關ノ險ハ正面攻撃ニ對シテ固ク間道迂回ニヨリ突破セラレタリ又守備軍ノ内應ニヨル險ノ陥落ハ古來支那史

上ノ特異點ナリ

潼關ノ背後ニ迂回スルニハ其ノ北方ニ於テ黄河ヲ渡河スル方策屢々  
用ヒラル、後漢ノ建安十六年（二一一）關中ノ諸將ガ舉ツテ曹操ニ  
反旗ヲ翻シ潼關ニ兵ヲ進メタル時知謀ニ長ジタル曹操ハ安西將軍曹  
仁ニ命ジ潼關ノ敵ニ當ラシメ八月秘カニ徐晃、朱靈ニ命ジ步騎四千  
ヲ率ヒ蒲阪津ヲ渡河セシメ自ラ潼關北方ニ於テ渡河南下シ潼關ニ進  
入セリ、其後渡河迂回作戰ハ屢々用ヒラレタリ

（曹操以前ニ劉秀ガ赤眉ノ亂ニ乘ジ長安ヲ衝カントシ部將鄧禹ヲシ  
テ山西省汾陰ヨリ渡河入關セシメタリ、蓋シ赤眉賊ガ潼關ニ向ヒタ  
ルタメ方畧上之ヲ避ケタルナルベシ

### 第三節 黄河ノ渡河

山西、陝西兩省ノ省境ヲ劃シツ、南流スル黄河ハ兩岸狹隘絶壁ヲナ  
シ渡河頗ル困難ナル地障ナリ

史上渡河作戰ノ例ハ前述ノ曹操、劉秀ノ外劉稷符健、李淵、金軍、

四

元ノ木華黎、徐達、吳三桂、等アリ、渡河地點ハ蒲津（蒲阪津）龍門、保德等ナリ

イ蒲津（永濟）

山西ヨリ黄河ヲ渡リ關中ニ入ル要津ニシテ山西省西南部潼關ノ北方ニアリ

秦ノ昭襄王ノ時代ニハ橋梁架設セラレタリ其ノ後唐ノ開元十九年（七三一）ニハ兩岸ニ各々鐵牛四個ヲ置キコレニ浮梁ヲ繫ギ渡河ニ利用セルモノニシテ現在尙此ノ鐵牛ハ蒲州城西門外ニ存シ名物ノ一ナリ、此ノ地ニ關城ガ設ケラレタルハ戰國、魏ノ時代ナルモ隨ノ時代河北ノ貢物ハ全部山西ヨリ本橋ヲ渡リ長安ニ運バレタルモノナリ

尙河中ノ砂上ニ中澤城ヲ設ケ其ノ守ヲ固メタリ、蒲津ハ別名蒲阪津又ハ夏陽津トモ稱シ潼關ノ北方ヨリ此ノ附近ニ亘リ諸所ニ渡河點アリ

此ノ地區ニ於テ渡河セシハ曹操、符健、徐達ナリ、又逆ニ陝西省ヨリ山西ニ出デタルモノニ劉邦（朝邑ヨリ渡河）ナリ

### 龍門、汾陰

第二ノ渡河點ハ蒲津北方ノ汾水ト黄河ノ合流點附近ニシテ合流地點ヨリ北方龍門ニ亘リ二、三ノ渡河點アリ、該地點渡河線潼關ノ背後ヲ衝クニハ稍迂遠ニシテ寧口潼關ヲ避ケ一路關中ニ向フ路線トモ見ラル（劉秀ノ場合ノ如シ）然レ共李淵ノ如ク潼關攻略ノ方メノ一支作戰路トナセル場合アリ

### 八保德

第三ノ渡河地點ハ更ニ北方ノ保德（山西省西北方）附近ナリ、本地點ヨリ渡河セル先例ハ唯明ノ隆將吳三桂ガ清ノ豫親王多鐸ト共ニ長安ヲ攻略シタル際ノ作戰ノミナリ、蓋シ保德ハ西安平地ニ攻略ノタメニハ過度ニ北方ニ偏シアルノ憾アリ

然レトモ吳三桂ガ保德ヨリ渡河シ延安ニ出デ甯下シテ鄜縣ニ迫リ長安

ヲ脅威シ潼關ノ敵ヲ牽制セシハ雄大ナル戰路ト見ルヲ得ベシ  
 以上ノ如ク黄河渡河ニ關シテハ幾多ノ先例ヲ見ルモ潼關攻路ノ主作  
 戰ニ對スル一支部隊正面トシテ蒲津以北ノ渡河點ヲ注視スルノ要ア  
 ルベシ

#### 第四節 水軍ノ利用

黄河ト渭水ヲ利用シ水軍ニ依リ西安ヲ衝キシハ劉裕ナリ。劉裕ハ軍  
 ヲ三分シ一ハ潼關路。二ハ武關路ヲ何レモ步騎軍ヲ進撃セシメ三ハ  
 自カラ水軍ヲ率ヒ開封ヨリ河ヲ溯リ潼關ニ進撃セリ陸路ハ險要ニシ  
 テ突破シ得ズ逐ニ水軍ヲ渭水ニ入レ長安ヲ奇襲モ成功セリ。潼關路  
 ヲ進撃サル步騎軍ハ現在ノ隴海鐵路ニ沿ヒ一ハ黄河ヲ渡河山西省河  
 東地方ヲ定メ蒲阪津ヲ攻撃セシモ突破シ得ズ  
 他ニ水軍ヲ利用セシ例ナシ蓋シ史上長安攻路ヲ企圖セル諸將ガ多ク  
 北方將領ナルタメ水戰ニ慣レズ又水軍ヲ有セザリシニヨルナルベシ

#### 第五節 南陽、武關、潼關道



本道ハ河南省南部及揚子江中流ヲ結ブ交通路ノ一部ニシテ古來經濟  
軍專兩方面ニ盛ニ利用セラレタルモノナリ

武關ハ陝西省商縣東方約四十五軒ノ地點ニアリ同地ヨリ西安迄約三

〇〇軒ナリ、武關ヨリ藍關ニ至ル間道路ノ兩側ハ山岳重疊シ道路頗  
ル峻阻ニシテ函谷關潼關路ト同様天下ニ名タタル險要ナリ

史上武關路ヲ利用モシモノノ中特ニ見ルベキモノハ漢ノ高祖劉邦ニ  
シテ劉邦ガ秦ヲ攻ムル際潼關路ヲ避ケ本道ヲ選ビシ事ハ前述ノ如シ  
其ノ後漢中王トナリ雖伏牛歳ノ後項羽ト雖雄ヲ決センガ爲兩度關中  
ニ入りタル際未ダ同地ノ平定ヲ待ツ事ナク有力ナル一支隊ヲ武關ヨ  
リ關外ニ進出ヤシノ南陽ヲ占據シ將來主力ヲ進出スベキ洛陽ノ開封  
一除州方面ニ對シ側面陣地的據點ヲ確保セリ、本例ハ關内ヨリ關外  
ニ出テタルモノナリ

劉邦以前ニ陳涉ガ武關路ニ一支隊ヲ派シ潼關路ヲ進撃スル主力ヲ掩  
護セシメタル例アリ然レドモ敵ノ秦軍ガ主力ト臨潼ニ會戰中武關方面

ニ對シ何等顧慮セザリシ所ヲ見レバ恐ラク本支隊ハ未ダ武關ニ到達シ得ザリシモノト判断セラル主力ノ會戰ニ策應スル別動一支隊トシテノ行動ヲ誤リタルモノナリ

主力ヲ潼關路ニ進メ武關路ヲ支作戦路トセル模範的西安攻撃ヲ遂行セシモノハ劉裕ニシテ前述ノ如ク軍ヲ三分シ步騎ノ主力ト水軍ヲ潼關ニ指向シ一支隊ヲ部將沈田子ニ指揮セシメテ武關ヨリ藍關ヲ經西安ヲ衝カシメタリ、敵將姚泓ハ潼關ヲ救援スルモ背後ヲ沈田子軍ニ襲ハルル事ヲ恐レ先ヅ之ヲ撃ツベク藍田（藍關）ニ出撃セルモ却ツテ大敗シ顯上（西安西方）ニ敗走シ最後迄沈田子ニ牽制サレ潼關ヲ救援シ得ズシテ敗戦ニ了レリ、之等ハ最モ有効ニ武關路ヲ利用シタル例ナリ

#### 第六節 入關ヨリ西安迄

既述ノ如ク關ヲ突破シ得バ既ニ西安ノ死命ヲ制シ得タルモノニシテ西安攻略ノ困難ノ大部ハ入關迄トス

入關以後ノ險要ハ潼關方面ニ於テハ臨潼、武關方面ニ有リテハ藍關ナリ、臨潼ハ陳涉ノ部將周文ガ秦ノ章邯ノ軍ニ大敗シ東方涇池（河南省）迄敗走セシメランタル地ナリ其ノ後西安攻略諸作戰ニ臨潼ガ激戦地タリシ例ハ屢々ナルモ潼關ヲ失ヘル臨潼防衛線ハ大ナル價值ナク殆ド皆突破セラレタリ、藍關ハ臨潼ニ比スレバ遙カニ難攻ノ地ニシテ寧口武關ノ延長トモ稱シ得ベク藍關ヲ突破セザレバ西安平地ヲ制シタリトハ言ヒ得ザルナリ

入關以後西安ニ進撃スル路線ハ(1)華陰、華州、渭南、臨潼道(2)高陵涇陽方面ヨリ北方ニ迂回シ次イテ南下スル道ノ二路ヲ有スルモ大多數ハ前者ヲトリ後者ノ例ハ劉聰、徐達ノ二人ノミナリ、而シテ黄河ヲ渡河セルモノニハ

(イ)蒲津ニ於テ渡河シ朝邑、同州（大荔）ヲ經テ潼關ノ背後ニ出デ渭水ニ沿ヒ西安ヲ衝ケルモノ

(ロ)龍門、汾陰ヨリ渡河シ緯城ヨリ郃陽ニ出テ之ヨリ二路ニ分チ

ノ朝邑又ハ同州ニ出デ(イ)ト同様ニ渭水ニ沿ヒ西安ヲ衝クモノ(例  
李淵、金軍)

2 郃陽ヨリ西進蒲城涇陽ニ出テ西安ヲ北方ヨリ衝クモノ(例 劉  
聰)

(ハ)保德ヨリ渡河シ延安ニ出テ更ニ南下シ麟州ヲ經テ西安ノ北方ニ出  
ル路線ノミナリ

### 第三章 結 論

歴史的ニ觀タル西安攻路路線ノ概要以上ノ如クナルモ用兵的見地ニ  
基キ更ニ詳細ナル史實的研究ヲナサンカ好箇ノ參考資料ヲ發見シ得  
ベシ。古來幾多ノ帝王ノ都タリシ西安平地ハ現今尙戰路の要衝ヲ占  
メ殊ニ西北各路線ノ建設ハ往時ノ面目ヲ一新シ有力ナル抗戰基地ヲ  
形成シテアリ

西安平地ハ四圍四關アリテ險要ナル河川、山脈ニ包マレ加テ中  
央ニ河谷地隙各所ニ存在シ之ガ突破ハ困難ナリト雖モ上述ノ路線ハ

現時ノ作戰ニ於テモ重要ナル進入路線トシテノ價值ヲ有ス  
 然レドモ古ノ主作戰路ヲ以テ直ニ之ヲ主作戰路タラシメントスルハ  
 早計ニシテ彼我ノ態勢ト軍事技術ノ進歩發達トヲ商量シ之ヲ地形上  
 ノ特質ニ聯合セシメ以テ適切ナル策案ヲ樹ツルヲ要ス  
 然リ而シテ現時征戰途上ニ於ケル關中平地ノ價值ハ未ダ古往ニ比シ  
 テ毫モ減少シアラサルヘク之カ攻路ハ事變完遂上大東亞戰爭開始セ  
 ラレシ今日以後ニ於テモ尙且重大ナル要素ヲ包含シアリト謂フヘク  
 吾人江東ノ嚴頭ニ立チ關中ヲ臨ムモノ必スヤ長安ヲ拔キ秦嶺ヲ仰ク  
 ノ日近カルヘキヲ庶幾セントスルハ蓋シ是レ自然ノ情ナリト謂フヘ  
 ク豈夫レ貴妃華清池ノ夢ヲ追フ徒輩ノミナリト謂フヲ得ンヤ  
 稿ヲ了ルニ方リ一古往及現時ニ於ケル峽西（關中）ノ價值ト之カ攻  
 略要領トヲ附記シテ以テ參考トナス

## 「附記」

古往並ニ現時ニ於ケル西安平地ノ價值ト之カ攻畧要領

## 第一 古往ニ於ケル關中ノ價值判斷

周ノ武王ハ鎬京（今ノ西安附近）ニ都ヲ奠メテ周室七百年ノ基ヲ固メタリ（武王ノ子成王ハ洛陽ニ都ヲ營ミシモ西安附近ノ價值ヲ重視シ之ト共ニ天下ヲ抑ヘントスル策ヲトレリ）軍事の價值絶大ナル關中ニ占據セシモノハ其ノ政治、勢力遙カ黄河ノ下流ニ及ベルノ一事ハ歴史上特筆スベキ事項ナリトス

## 2 戰國時代

秦、魏、趙、韓、燕、齊、楚ノ七雄爭鬪時代ニアリテ關中ニ建國セル秦ハ西紀前二三〇年漢中ヲ陷レテ韓ヲ亡末シ二年後ニハ趙ヲ翦後三年後ニハ魏ヲ又二年後ニハ楚ヲ滅シ遂ニ天下ヲ統一シ揚子江及黄河流域悉ク秦ノ勢力範圍トナレリ

## 3 楚、漢兩國ノ抗爭

蓋世ノ英傑項羽モ關中ニ都セザリシ爲漢中ヨリ興リテ北上セル劉

邦ノ爲ニ關中平池ヲ占據セラレ之ガ爲准水河畔ノ露ト消ユルニ至  
レリ

#### 四 三國及西晉時代

魏ノ曹操ハ長安ニ都シ關中ノ險ニ據ルテ其ノ勢威他ノ二國ヲ壓  
セリ又魏ノ大將司馬懿（仲達）ノ如キ凡將モ彼ガ關中ニ占據シ古  
人ノ法ニ從ヒ天險ヲ利用セシ之ニ依リ孔明ノ如キ天才ヲ以テシテ  
モ遂ニ如何トモ爲シ得ザリキ  
其ノ子司馬昭ハ此處ヲ據點トシテ蜀ヲ滅シ其ノ子司馬炎（武帝）  
ハ吳ヲ滅シ聲威四方ヲ蹙シタリ  
然レドモ武帝ハ洛陽ニ都シ關中ニハ至親ノ肉親ニアラザレバ駐セ  
シメザリシモ暗黒ナル惡帝ニ至リテ關中ハ民族（氐族）ノ爲メ  
占領セラレ西晉ハ五十一年ニシテ亡ブ、關中喪失ノ影響亦以ツテ  
知ルベシ

## 5 唐全盛時代ノ陝西

唐興ルヤ長安ヲ以テ軍事據點トナシ隋末ノ亂ヲ收拾、天下ヲ統一シ二十代二百九十年ノ基ヲ築ケリ

宋ノ太祖ハ周ニ代リ周ノ帝ノ禪ヲ受ケ天下ヲ取り河南（開封）ニ都セシハ北宋敗亡ノ主因トス

開封ハ天然ノ要害存セズ單ニ政治的守勢ヲ探ルノ外途ナク一旦變事ニ遭遇セバ輒懸防戰スルニ適セズ之宋ガ國中ノ軍事的價値ニ味ク遼、西夏、金等ノ外敵ト鋒ヲ交ヘ事毎ニ失敗セシ所以ナリ

## 7 金、元

イ金モ關中盤據ノ賢策ヲ採ラズ汴京（洛陽）ニ都シ遂ニ元ニ征服セラル、ノ端緒ヲ開ク

口成吉思汗ハ流石一代ニ傑出セル天才ニシテ中國征服ハ絶對ニ甘  
 峽ヨリ着手スベキヲ看破シ不幸六盤山ノ關中ニ歿スルニ際シ再三  
 子孫ニ西夏討伐ヲ第一着手トシ其ノ滅後甘、陝ニ侵入シ此ノ地



チ根據地ト成スヘク致ヘタリ子孫良ク其ノ教ヲ守リ遂ニ關中ヲ收  
 ノテ命ヲ亡ボシ後南宋ヲ亡ボシ咸令天下ニ振ヘリ然レドモ元祭關  
 中ノ價值ヲ輕視シ夙將李思齋及張思道ヲ選ブニ及ヒ遂ニ覆滅ス  
 之ニ由リテ之ヲ觀ズレバ金ノ失敗、元ノ成功並ニ元末ノ失敗ハ一  
 ニ關中ノ價值ヲ知實ニ物語ルモノト謂フベシ

### 明、清時代

明ノ太祖ガ元末ノ紛擾ニ乘ジ皇覺寺ノ一和尚ガ身ヲ以テ遂ニ中原  
 ニ覇權ヲ確立スルニ至リシ主因ハ彼ノ臣徐達ガ秦隴勘定ニ成功セ  
 ルニ因ル

然レドモ明末陝西ニ良器ナク且大饑飢アリ流賊蜂起シテ關中ノ守  
 リヲ失ヒ遂ニ毅宗ハ李自成北京占領ニ因リ景山ニ縊死スルニ至レ  
 リ  
 清ノ中原掌握ハ一ニ關中ノ形勢ヲ洞察セシニ依ル、清ノ世祖立ツ  
 ヤ攝政多爾袞ハ降將吳三桂ヲ利用シ李自成ヲ擊破シ、李陝西ニ入

ルヤ直ニ北京ヲ陥レ一面山東、河南ヲ攻略スルト共ニ他面陝西ヲ  
 攻略シ本自成ヲシテ立脚ノ餘地ナカラシメタリ  
 コレ關中ガ天下ノ要點ニシテ之ヲ得レバ黃河下流ノ制壓可能ナル  
 ノミナラズ四川ヲ窺ヒ揚子江下流々域ノ死命ヲ制シ得ルヲ看破セ  
 シカ爲ナリ

## 第二 現時ニ於ケル關中ノ價值判斷

現在重慶政權ニ對スルニ大輸血地帯ハ

陝西ニ於ケル西北ルート

四川ニ於ケル西北ルート

即チ此等ハ戰鬥竝ニ生存資材ノ集積且補給ノ二大地帯タリ

今若シニ大輸血地帯ノ一タル陝西ヲ攻略センカ直接的ニハ輸血路ヲ  
 遮斷シ抗戰力ヲ低下セシメ抗戰繼續ノ不能ヲ自覺セシメ間接的ニハ  
 中共ニ依ル「ソ」聯勢力南下ヲ分斷シ以テ河南ニ於ケル敵軍ノ志氣  
 ナ宸失セシメ彼等ヲシテ抗戰ヲ放棄シテ和平陣營ニ投スルノ結果ヲ

招來シ得ヘシ

第三 關中攻略要領

1 方針

穿貫竇破楔入ノ方式ニ據リ比較的狹少正面ニ突破ヲ制限シ一舉ニ西安ニ突進ス

2 渡河方面

潼關緯城方面

3 攻略順序


イ 郃陽一 同官一 長武ヲ連ナル線以北ノ中共ハ監視ニ止メ攻略セス  
ロ 潼關以東ノ河南軍ニ對シテハ一部ヲ以テ監視セシムルニ止ム  
ハ 隴海線ニ沿ヒ寶雞ニ向ヒ突進ヤシム

主要路

(1) 隴海線 (2) 咸川線 (3) 西安一長武二路

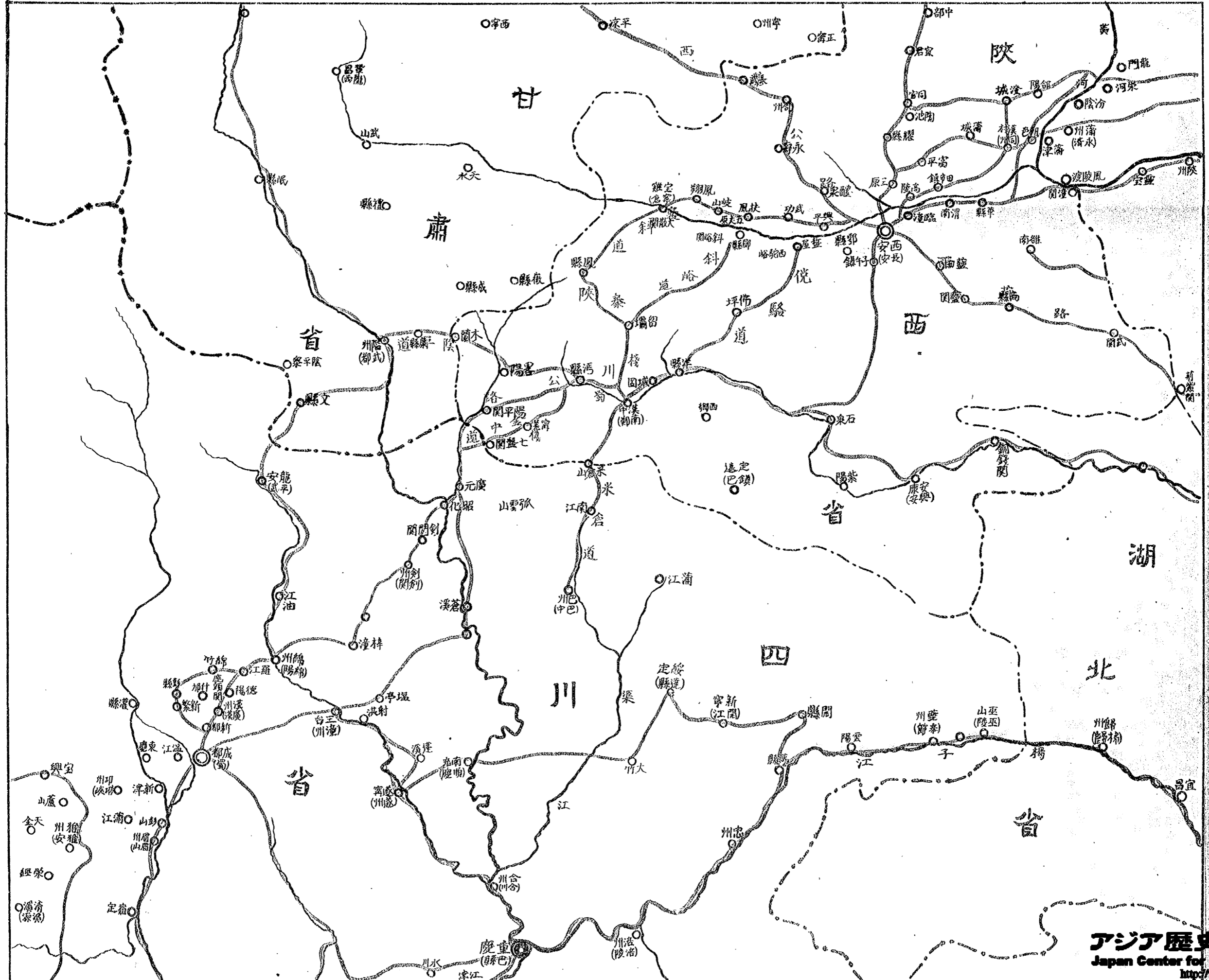
ニ寶雞ヨリ寶賚道ヲ南下シ漢中ヲ攻略シ漢水沿線主要地點ヲ攻略ス  
註 潼關攻略ハ背後ヨリ行フヲ可トス

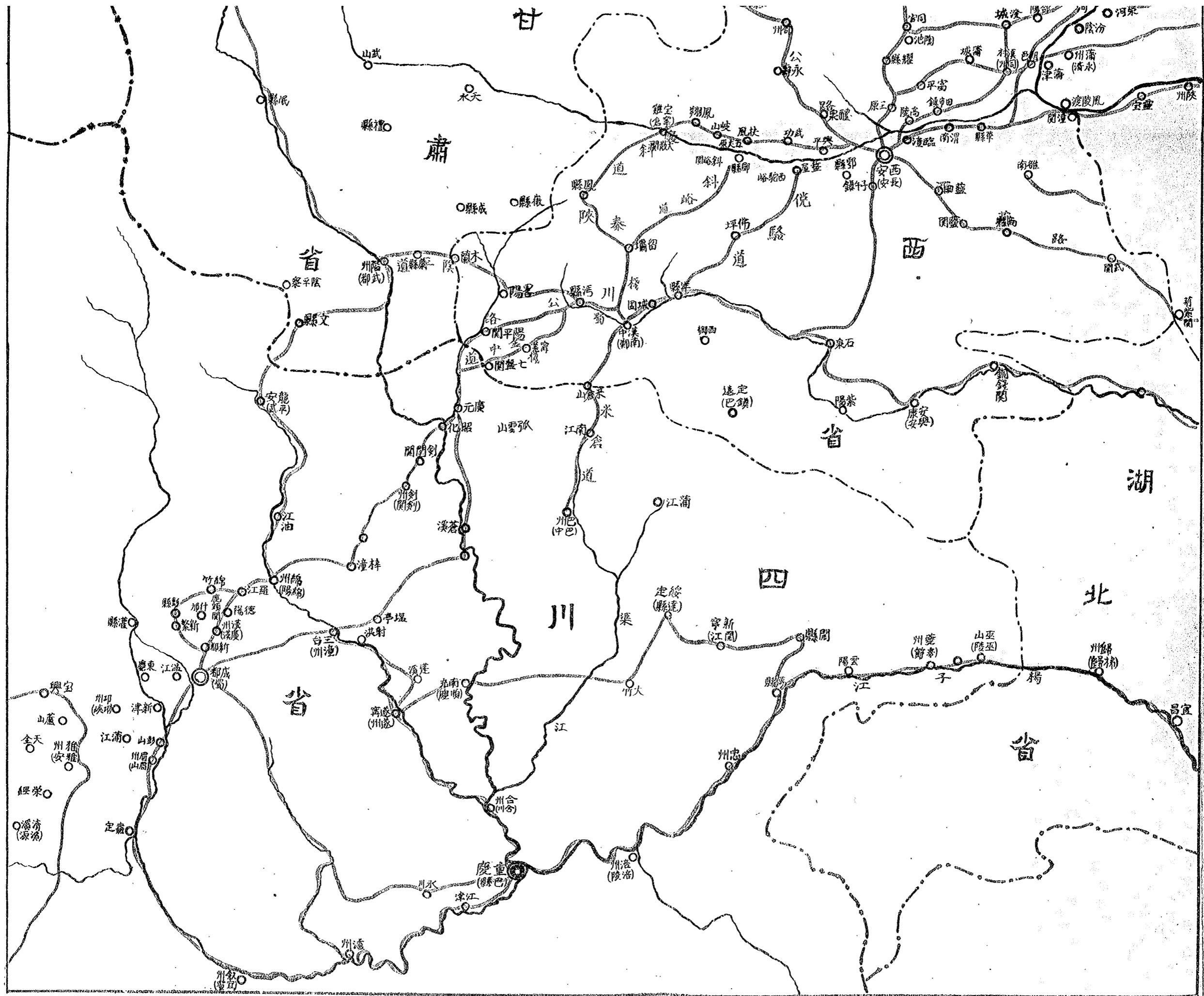
# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="523 434 826 797"><tr><td data-bbox="531 445 818 616">2</td></tr><tr><td data-bbox="531 616 818 786">1</td></tr></table>	2	1
2			
1			
分割撮影 した 理由	A3判以上のため		
<p data-bbox="272 1205 1305 1361">上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p data-bbox="327 1503 922 1581">8 年 6 月 日</p> <p data-bbox="531 1704 826 1765">主務者又は</p> <p data-bbox="531 1868 826 1928">撮影立会者</p> <p data-bbox="895 1832 1422 1939">坂根嘉和 </p>			

# 西安重慶進ノメタノ歴史の路線

1481





1482